

■ 解決すべき社会の問題

八幡東区を対象にし、その既存市街地の活性化と低炭素化を図るため、地域に根ざした固有の産業とそのもととなる「ローカルメタコンテンツ」を掘り起こすと共に、「街区の改修」と「移動・交流等の内部システムの改善」に大別される居住環境の多様な改善方策とを、地域の実態にそくして調和ある形で構想し、それぞれの方策の有効性を推計すると共に効果的な手法を市民と共に選択し、本格的な街づくり構想を構築する。

■ 検証すべき仮説と検証方法(社会実験)

地域・社会衰退のなりゆきシナリオの仮設設定

地域・社会衰退を回避するモデル構築

地域・社会衰退のプロセス分析、それからの回避統合解の仮設設定

地域・社会衰退を回避する政策シミュレータの提案

統合的社会イノベーションシステムの形成

それらを支える人的資源開発へのイノベーション

■脱温暖化・問題解決のシナリオ

●工学的技術要素

住宅のリノベーション

生活圏のコンパクト化(交通路の短縮と空き地の自然再生)

自然エネルギーの利用

新規省エネ推進型産業と地域の産業エネルギーの利用

その他(導入施設・設備・機器の長寿命化と省エネ化)



●人的・社会的技術要素

建替え・住替え需要とインセンティブ付与による促進

地域モビリティシステムの普及と跡地の自然修復促進

エリアマネジメント公益法人活動(次世代型人的資源開発ならびに次世代型社会システム開発)



●得られる社会技術的成果

政策シミュレータによる予測と知見の共有

地域目標の共有化による社会エンジンの始動

統合的社会イノベーションの枠組み

活力ある持続的地域への転換

■研究開発全体像

JST2011領域合宿桐生

2011.10.30

環境モデル都市における既存市街地の低炭素化モデル研究

八幡東区での
既存市街地の活性化と低炭素化を図る



街区の再生
移動・交流等の内部システムの改善

地域課題



多様・多岐な方策を地域の実態に即して構想し、
それぞれの有効性を推計し、効果的な手法を市民と
共に選択し、地域にあった街づくり構想を構築する。



サブグループ

研究総括サブグループ

再生・改善に向けた地域全体の動的しくみのあり方を設計し把握する。

- ① 全体構想の策定と見直し
- ② 「社会企業」の設立とコミュニティの形成
- ③ 「エリアマネジメント公益法人」の設計と市民を巻き込んだ試行とフィードバック
- ④ 社会イノベーションが進行するしくみの設計

地域分析・地域設計サブグループ

地域の実態を調査分析し、課題の把握と地域再生を多様に構想する。

- ① 2050年までの成行きシナリオによる地域分析
- ② 2050年までの地域設計

有効性評価サブグループ

代替的構想案の有効性のアセスメントをおこなう

- ① 低炭素化の分析
- ② 経済性分析
- ③ 有効性アセスメント

■これまでの主な成果

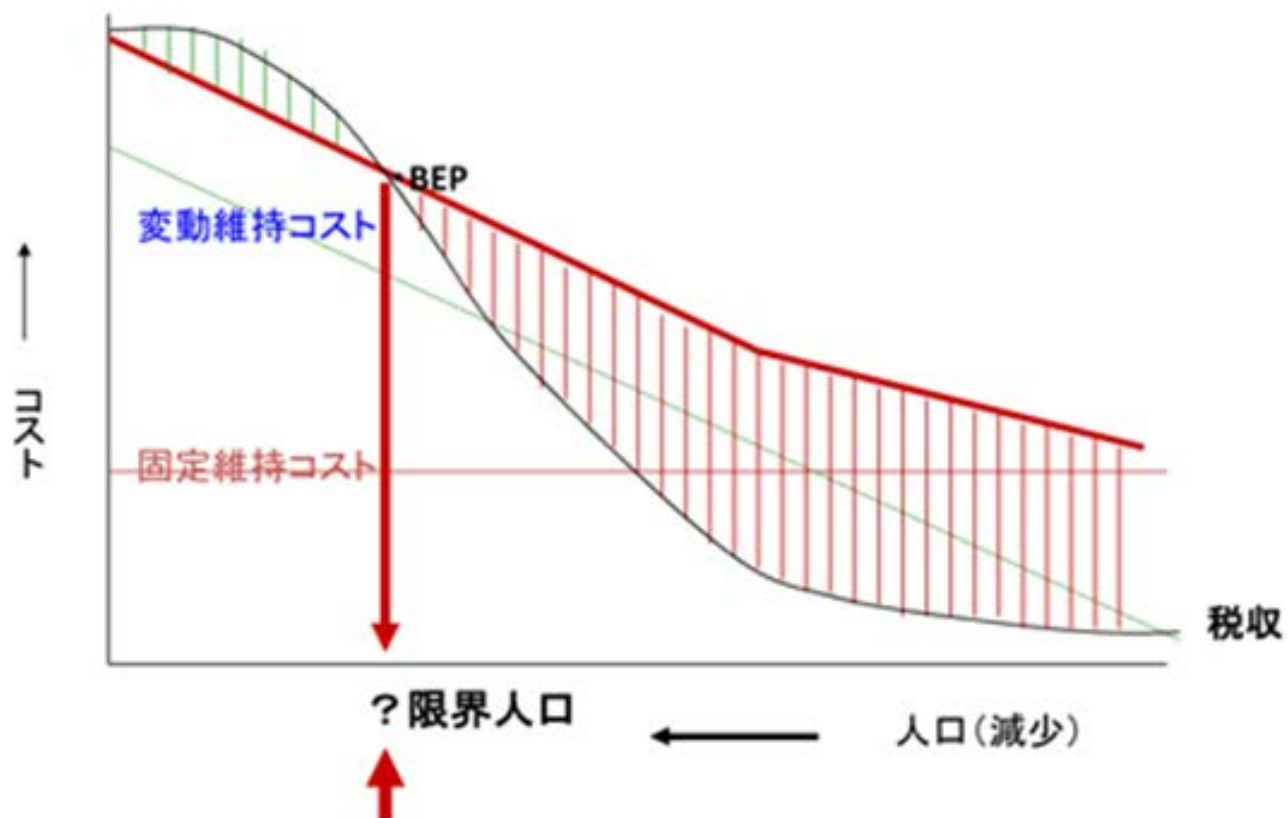
- ①人口動態解析ソフトによる成り行きシナリオ
- ②少子高齢化人口減少地域における近未来ゴールの描き方／ストック型社会・バックキャスティング・アロケーション・コンパクト市域と発生余剰地での資源自律・等々の基本モデル
- ③成り行きシナリオ可視化／空撮⇒画像処理
- ④市民・住民／主体者となる組織の育成(次世代システム研究会、八幡東区の近未来創造ゼミナール他)

■東日本大震災対応

- ・平成17年度に宮城県土木部と「津波等大規模震災発生後の復興モデル」を共同研究した(ゆとりある国・日本の作り方 第7章宮城県モデル)。
- ・福島大学等に考え方の供与。
- ・日経コンストラクション8月8日号「次代につながる復興」等

地域維持コストから見た Break Even Point の考え方

【人口減少・地域縮退期モデル】



ラジコンヘリによる空撮



ラジコンヘリによる空撮画像



八幡東区の近未来創造ゼミナール 第1弾

～どうなるこの町・どうするこの町～



【期 間】
 平成23年10月5日
 ～平成24年2月22日
 18:30～20:30
 水曜日 (全10回)
 (詳細はプログラムのとおり)

【会 場】
 レインボープラザ
 (八幡東区栄2-1-1)

【申込み先】
 〒8105-8010 八幡東区中央一丁目1-1
 八幡東区役所コミュニティ支援課
 「八幡東アカデミー」係

私たちのあした(近未来)
 創造できますか?
 次世代に向けた社会づくり
 ともに考え、創りませんか?

【対 象】
 八幡東区在住または勤務の方、
 学生さんも歓迎

【定員】 30名

【学 費】 2,000円

【申込み方法】
 ①住所はがき(講座名・郵便番号・
 氏名・ふりがな・年齢・電話番号)
 ②FAX(裏面に必要事項記入)
 左記までお申込みください

プログラム

1	10/5	八幡東区の過去と近未来 ～アサ高野生・人口減少と私たちの未来～	6	12/14	2050年の地域設計のひとつの方法
2	10/19	近未来はどうなるか / 世界は、日本は、北九州は	7	1/11	八幡東区のエネルギー等資源自治の 可能性
3	11/2	私たちの時代の強づくり、弱づくり 日本と西ドイツの違い	8	1/25	八幡東区の2050年を越く ワークショップ1
4	11/9	八幡東区のなりゆきシナリオ ～もしもなければどうなるか?～	9	2/8	八幡東区の2050年を越く ワークショップ2
5	11/30	八幡東区の再生シナリオ ～夢と希望の街づくり～	10	2/22	総合ディスカッション ワークショップ発表

開本 久人 氏 (九州国際大学准教授・次世代システム研究員)
 講師 西下 隆市 氏 (九州産業能力開発大学院 教授)
 西本 浩 氏 (環境テクノシステム株式会社 取締役)

主催 八幡東アカデミー運営委員会
 共催 次世代システム研究会
 後援 八幡東区役所

【問合せ先・申込み先】
 八幡東区役所コミュニティ支援課
 電話 671-0801(内線643)
 FAX 681-6013



■ 会 場 レインボープラザ(八幡東区中央二丁目1-1)

1～7回 62会議室(6階)

8～10回 71会議室(7階)

プログラム

1	10/5	八幡東区の過去と近未来 ～少子高齢化・人口減少と私たちの暮らし～	6	12/14	2050年の地域設計のひとつの方法
2	10/19	近未来はどうなるか！ 世界は、日本は、北九州は	7	1/11	八幡東区のエネルギー等資源自立の可能性
3	11/2	私たち世代の国づくり・地域づくり 日本と西ドイツの違い	8	1/25	八幡東区の2050年を描く ワークショップ1
4	11/9	八幡東区のなりゆきシナリオ ～何もしなければどうなるか？～	9	2/8	八幡東区の2050年を描く ワークショップ2
5	11/30	八幡東区の再生シナリオ ～夢と希望の地域づくり～	10	2/22	総合ディスカッション ワークショップ発表

岡本 久人氏 (九州国際大学客員教授・次世代システム研究所長)

講師 岩下 陽市氏 (九州職業能力開発大学校 教授)

岩本 浩氏 (環境テクノス株式会社 取締役)

近未来創造ゼミナル風景

